

2020. 8. 31

# Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線 植物モニタリング活動

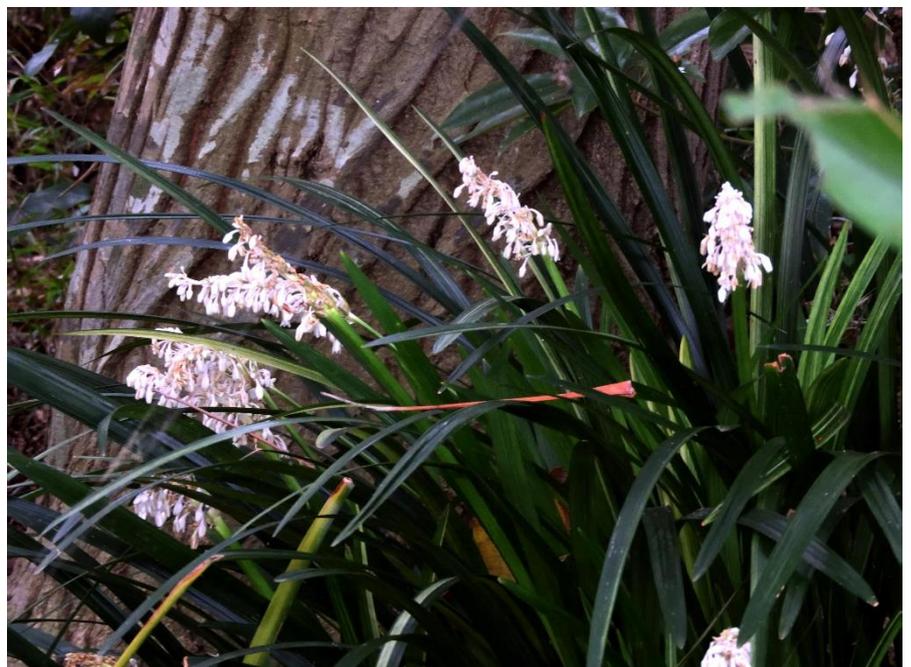
## 雨の7月が一転して日照りの8月

8月の第四週からは風がでてきていくらかは過ごしやすくなりましたが、猛暑日は続いています。あれだけ雨が降り続いた7月が嘘のように、今度は日照りの毎日。木々の葉で覆われた林の小径も乾いてカラカラ。そんな中で8月最後のモニタリング活動、8/31の記録です。



### モニタリング＝複眼 で観ることのよさ

誰かが林の奥を指さして「あれなんだろう」。ノシラン→の今年最初の観察でした。モニタリング活動に参加しているみなさんは植物の専門家ではありませんが、たくさんの眼、つまり複眼で観察していると見えな  
いものも見えてくるものです。



## ただの雑草とみるか、貴重な植物の群れと見るか???



春にはニリンソウが広がっていた大門の林は今では背丈ほどに伸びた「雑草」でいっぱい。でも、こういう草って、今では他の場所では観られないのです。写真上左で一面に広がっている草をクローズアップしてみると上右の**ヤナギイノコヅチ**という野草です。ごく普通に見られるヒナタイノコヅチやヒカゲイノコヅチに対して葉がヤナギのように細いのが特徴です。花そのものは色もないし、きれいとは言えません。でも、これ、東京都では準絶滅危惧種のニリンソウより絶滅危惧度が高いとされている野草で、保護活動では大事に扱ってきました。

同じように色気のない白い花は**ノブキ**。数年前にはほとんど見られなくなっていたのがこの2、3年勢いを盛り返してきました。このように、まちなかではもう絶滅してしまった野草がまだ生き残っているのが赤塚公園の崖線の林です。ただの「雑草」として切り捨ててしまうか、出来るだけたくさんの種類が共存して生きていく自然を残すか、どちらを選択するかで、未来の姿は大きく変わってくるはずです。



## ため池公園の前の林のフェンスも見捨てたものじゃない



←**ママコノシリヌグイ**

赤塚公園全域でここで見られなくなりました。

**オニドコロ**→

赤塚公園には姿がよく似ているヤマノイモ（自然薯）もあります。



**モニタリング(植物観察・記録)活動 だれでも歓迎です!**

9月の予定 9/14、9/21、9/28 (9/7は赤塚公園友の会緊急会議のためお休みです)

いずれも9:00、赤塚ため池公園梅林下スタート、雨天中止

お問合せは赤塚公園サービスセンターまで ☎03-3938-5715